

## 令和5年度 第2回 賀茂地域医療構想調整会議 会議録

日 時	令和5年10月25日（水）午後6時30分～7時30分																																																																	
場 所	静岡県下田総合庁舎第8会議室（オンライン併用開催）																																																																	
出席者等 職・氏名	<p>（出席委員）</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 60%;">賀茂医師会長</td> <td style="width: 20%;">太田</td> <td style="width: 20%;">清利</td> </tr> <tr> <td>賀茂歯科医師会長</td> <td>菊池</td> <td>毅</td> </tr> <tr> <td>賀茂薬剤師会長</td> <td>高橋</td> <td>清彦</td> </tr> <tr> <td>静岡県看護協会賀茂地区支部長</td> <td>後藤</td> <td>亙</td> </tr> <tr> <td>伊豆今井浜病院長</td> <td>小田</td> <td>和弘</td> </tr> <tr> <td>康心会伊豆東部病院長</td> <td>高尾</td> <td>昌孝</td> </tr> <tr> <td>熱川温泉病院長</td> <td>田所</td> <td>康之</td> </tr> <tr> <td>西伊豆健育会病院長</td> <td>仲田</td> <td>和正</td> </tr> <tr> <td>社会福祉法人梓友会理事長</td> <td>川島</td> <td>優之</td> </tr> <tr> <td>全国健康保険協会静岡支部企画総務部長</td> <td>海野</td> <td>陽之</td> </tr> <tr> <td>下田市市民保健課長</td> <td>斎藤</td> <td>伸彦</td> </tr> <tr> <td>東伊豆町健康づくり課長</td> <td>山田</td> <td>義則</td> </tr> <tr> <td>河津町健康増進課長</td> <td>土屋</td> <td>典子</td> </tr> <tr> <td>南伊豆町健康増進課長</td> <td>山田</td> <td>日好</td> </tr> <tr> <td>松崎町健康福祉課長</td> <td>鈴木</td> <td>悟</td> </tr> <tr> <td>西伊豆町健康福祉課長</td> <td>渡邊</td> <td>貴浩</td> </tr> <tr> <td>静岡県賀茂保健所長</td> <td>本間</td> <td>善之</td> </tr> </table> <p>（欠席委員）</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 60%;">下田温泉病院長</td> <td style="width: 20%;">荒井</td> <td style="width: 20%;">充 ※代理出席</td> </tr> <tr> <td>ふれあい南伊豆ホスピタル院長</td> <td>望月</td> <td>博</td> </tr> </table> <p>（助言者）</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 60%;">浜松医科大学特任教授（地域医療構想アドバイザー）</td> <td style="width: 20%;">竹内</td> <td style="width: 20%;">浩視</td> </tr> <tr> <td>静岡県医師会（地域医療構想アドバイザー）</td> <td>小林</td> <td>利彦</td> </tr> </table>			賀茂医師会長	太田	清利	賀茂歯科医師会長	菊池	毅	賀茂薬剤師会長	高橋	清彦	静岡県看護協会賀茂地区支部長	後藤	亙	伊豆今井浜病院長	小田	和弘	康心会伊豆東部病院長	高尾	昌孝	熱川温泉病院長	田所	康之	西伊豆健育会病院長	仲田	和正	社会福祉法人梓友会理事長	川島	優之	全国健康保険協会静岡支部企画総務部長	海野	陽之	下田市市民保健課長	斎藤	伸彦	東伊豆町健康づくり課長	山田	義則	河津町健康増進課長	土屋	典子	南伊豆町健康増進課長	山田	日好	松崎町健康福祉課長	鈴木	悟	西伊豆町健康福祉課長	渡邊	貴浩	静岡県賀茂保健所長	本間	善之	下田温泉病院長	荒井	充 ※代理出席	ふれあい南伊豆ホスピタル院長	望月	博	浜松医科大学特任教授（地域医療構想アドバイザー）	竹内	浩視	静岡県医師会（地域医療構想アドバイザー）	小林	利彦
賀茂医師会長	太田	清利																																																																
賀茂歯科医師会長	菊池	毅																																																																
賀茂薬剤師会長	高橋	清彦																																																																
静岡県看護協会賀茂地区支部長	後藤	亙																																																																
伊豆今井浜病院長	小田	和弘																																																																
康心会伊豆東部病院長	高尾	昌孝																																																																
熱川温泉病院長	田所	康之																																																																
西伊豆健育会病院長	仲田	和正																																																																
社会福祉法人梓友会理事長	川島	優之																																																																
全国健康保険協会静岡支部企画総務部長	海野	陽之																																																																
下田市市民保健課長	斎藤	伸彦																																																																
東伊豆町健康づくり課長	山田	義則																																																																
河津町健康増進課長	土屋	典子																																																																
南伊豆町健康増進課長	山田	日好																																																																
松崎町健康福祉課長	鈴木	悟																																																																
西伊豆町健康福祉課長	渡邊	貴浩																																																																
静岡県賀茂保健所長	本間	善之																																																																
下田温泉病院長	荒井	充 ※代理出席																																																																
ふれあい南伊豆ホスピタル院長	望月	博																																																																
浜松医科大学特任教授（地域医療構想アドバイザー）	竹内	浩視																																																																
静岡県医師会（地域医療構想アドバイザー）	小林	利彦																																																																
議 題	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 地域医療構想の推進の関する医療機関の対応方針</li> <li>2 第9次静岡県保健医療計画（2次保健医療圏版）の素案</li> <li>3 賀茂地域の課題</li> </ol>																																																																	
報 告	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 地域医療介護総合確保基金</li> <li>2 地域医療構想に係るデータの分析の実施</li> <li>3 地域医療構想に係る勉強会の開催</li> </ol>																																																																	

### ○議 題

- 1 地域医療構想を踏まえた各医療機関の対応方針  
資料4に沿って説明

資料4-2～7により、各病院から説明

**【意見】**

太田議長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・どこの病院も人材確保、特に医師と看護師の確保が非常に困難</li> <li>・地域の高齢化により、患者の状況も不安定</li> </ul>
仲田委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・（下田メディカルセンターの指定管理の関係等について）令和9年以降、どうなるのか。</li> <li>→（伊藤委員）指定管理の期限まで3年くらいあるので、それ以降のことは申し上げられない。</li> </ul>
太田議長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人口減少により、病院経営が不安定になり、それに拍車をかけて医師も少なく、非常にシビアな問題だ。</li> <li>・患者が少なく、点在しているので、西伊豆健育会病院では、訪問診療を実施しており、タブレットを用いた遠隔診療等にも取り組んでいるが、残念ながら、診療報酬に反映がされていない現状があるので、県から働きかけていただきたい。</li> </ul>

**2 第9次静岡県保健医療計画の策定**

資料5、6、別紙6-2に沿って説明

**【意見】**

近藤委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・習慣的喫煙者の割合が、2020年度の特健診の結果、全国に比較して非常に高くなっている。当方（全国健康保険協会静岡支部）も事業所への禁煙対策等取り組んでいくので、職域や働き世代への取組も検討いただきたい。</li> </ul>
------	--

**3 賀茂地域の課題**

- ・賀茂地域で「困っていること」、「負担になっていること」などの現状を共有し理解するとともに、少しでも解決に向けての方向性につなげるため、各市町の担当課長で構成するワーキンググループを立ち上げ、月に1度程度協議を行っている。その内容について報告し、意見交換を行った。出された意見等は以下のとおり。

資料7に沿って各市町担当課長から説明

**【意見】**

太田議長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・要約すると、医師の高齢化、小児科、産婦人科、整形外科医の不足、脆弱な救急医療、行政も専門職の人材が不足している。</li> <li>・医療側も行政側もどちらも頑張らなければならない。</li> <li>・個人的な意見だが、今後は、医師会が関与するのは、医師にしかできないことに限られる。その必要最低限のことは、協力していきたい。</li> </ul>
仲田委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小児科医、産科医の確保は、（現実的に）無理である。</li> <li>・西伊豆町では、年間の出産件数は6件である。産科医が確保できたとし</li> </ul>

	<p>でも採算が合わない。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・30年ほど前には、年間の出産件数は約500件であったが、現在は、100件未満という状況である。</li> <li>・小児科、産科については、集約するしかないと思っている。</li> <li>・西伊豆健育会病院では、県と一緒に、タブレットを使って、大沢里地区の公民館で病院と患者が通信によりやりとりする診療を実施している。</li> <li>・現地に伺うのは、専門職である看護師である必要はなく、事務職員がタブレットの操作等を補助すれば良い。</li> <li>・この遠隔診療には、非常に可能性を感じているが、画期的に状況を変えるものにはなり得ない。</li> </ul>
小田委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・西伊豆健育会病院で行っている総合診療医を中心とした診療は最善であると感じている。</li> <li>・小児科でも、総合診療医がファーストタッチを行うことはできる。そこで対応可能かを判断することが一番大事なところだ。</li> <li>・整形外科の指導医の免許を持つ医師がいると、地域枠の医師等の受け入れができる。</li> </ul>
仲田委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・賀茂地域は、総合診療医が回すしかないと思っている。</li> <li>・西伊豆健育会病院では、内科医も総合診療をやりだしているのので、内科医が当直をしても、骨折していたとしても受入れて入院している。そして次の日に外科医が診ればよい。</li> </ul>
太田議長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・総合診療医はとても良いと思う。小児科医、産科医というのは、隣接圏域にお任せする。そのアクセスについて、行政の方で考えていただくという方向がひとつの方法と思う。</li> </ul>
竹内アドバイザー	<ul style="list-style-type: none"> <li>・この圏域の人口構成を見ると、キノコ型のように、高齢な層が大きくなっていく。少ない人数で高齢者の方々を支えていくのは、難しくなっていく。</li> <li>・医療がやることは、医療でやらなければならないことに限って、その前の段階でできるだけ減らしていく。</li> <li>・予防できることと、救急医療が対応しなければならないことを、はっきりと分けて、それぞれがどこまでできるのかを考え、高齢者の方々も自立することが大事である。</li> <li>・厚生労働省の予測では、この圏域は2015年が搬送件数のピークのはずだが、搬送件数は増えている。</li> <li>・地域メディカルコントロール協議会で、この圏域の救急患者について、救急の必要性等を分析して病院の負担を減らしていかないと問題の解決にはつながらない。</li> <li>・小児の救急は、県の事業である「#8000」が24時間365日使える。</li> <li>・すぐに病院に行かなければならない事例は、一定の割合しかないので、</li> </ul>

	<p>そのようなトリアージを、この地域でいかにやっていくのかが大事ではないかと思う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・浜松市で行っている遠隔診療についてであるが、医療機関が看護師を雇ってしまうと、診療報酬の関係で困ってしまうので、基本的に市が雇いあげて、心電図、カルテ、タブレットを積んだ車に乗って地域を回っている。</li> <li>・保健師の確保が大変なのはよく分かるが、若い保健師も魅力ある地域であれば、働いてみたいと思う。保健活動ができるというのは、ひとつの理由になるのではないか。</li> <li>・県内の他のところに拠点があって、賀茂圏域内で巡回診療をやっている病院について、教えてほしい。</li> </ul>
山田委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・焼津に拠点がある病院で、南伊豆町に診療時間をつくっていただいている。</li> <li>・伊豆今井浜病院と同じ伊波地区で巡回診療を行っており、どちらの病院にも需要がある。</li> <li>・先ほど、小児科医、産科医の話が出たが、確保が難しいことは重々承知であるが、地域としては、意見していくことを御理解いただきたい。</li> </ul>
小林アドバイザー	<ul style="list-style-type: none"> <li>・この地域では、1次救急、1.5次救急をしっかり守ることが重要である。</li> <li>・療養医療の病床や、介護医療院、老人保健施設等に医師がいる。そういった医師が助け合うというのが必要と思う。</li> <li>・私は、現在、老健にいるが、誤嚥性肺炎、尿路感染症、圧迫骨折も診る。</li> <li>・この地域の老健の医師は、外部から来た高齢の医師であると思われるが、それぞれがどのくらい役割を果たせるか、行政が仕切って活用すると良い。</li> <li>・ないものねだりをして、この地域にこれ以上医師は来ないので、総合診療科的なセンスを持った医師を増やすということしかない。ワーキングを上手く活用していただけるといいと思う。</li> </ul>

## ○報 告

次の1～3について事務局から、それぞれ資料に基づき報告し、情報共有を図った。

### 1 地域医療介護総合確保基金

資料1に沿って説明

### 2 地域医療構想に係るデータの分析の実施

資料2に沿って説明

### 3 地域医療構想に係る勉強会の開催

資料3に沿って説明

\*特に意見なし